

# 壁紙施工要領書

ルナファーザー  
フリース・チップス

## 施工の下準備

施工の下準備は【一般壁紙】施工要領の「1 作業確認」「2 事前準備」「3 施工環境の調整」をご確認ください。

## 接着剤

糊は【一般壁紙】施工要領の「5 接着剤と養生」をご確認ください。

## 壁紙の特徴

自然素材である紙を使用したドイツ製の壁紙です。塗装用としても、そのままでも使用できます。

製品巾が特殊で、ルナファーザー・フリースNo,741は100cm、ルナファーザー・チップスNo,20/75、No,32/75は75cmにスリット加工（化粧断ち）されています。

## 1 ルナファーザー施工上の要注意点

- 接着剤は十分に塗布すること。特に端部は多めに塗布すること。
- 糊付け後、あまり長く放置しないこと。
- ジョイントは突き付けで貼ること。
- 目地処理にボンドコークの使用は絶対避けること。（入隅や枠との取合いは除く）
- 気温5°C以下、あるいは湿度85%以上の日の施工は避けること。

## 2 下地調整

- ルナファーザー・フリースNo,741はフラットな商品のため、下地処理はできるだけ平滑にしてください。
- 大きな素穴や継ぎ目等がある場合はパテ処理を施し平滑にしてください。
- 吸い込みの大きい下地には必ずシーラーを塗布してください。
- その他、油類、ホコリ等は拭き取ってください。（ボード下地等の継ぎ目にはパテ処理時、ジョイントテープ等によるテーピングをしてください。）

## 3 裁断

- 施工する箇所の上下の長さに応じて、実測寸法より5~6cm長めに切ってください。

## 4 接着剤

- 接着剤は原液タイプをお薦めします。
- 塗装を前提とした場合は、下地と壁紙の浮きがでないよう、高い接着強度が必要です。接着剤は、濃い目（6~7割希釈）のものにエチレン酢ビ系ボンドを10~20%程度混合し、多めに塗布してください。糊付機の使用が可能です。
- 特に端の部分は乾燥が早いので多い目に塗布してください。

## 5 オープンタイム

- 紙素材で乾燥が早いいため、オープンタイムは10～15分程度、施工可能時間は、ルナファーザー・フリースNo,741は30分以内、ルナファーザー・チップスNo,20/75、No,32/75は20分以内を目安に施工してください。
- 養生用のパック等の使用をお勧めします。ただし、商品自体の伸縮性はほとんどありませんので、糊付け後すぐの施工が可能です。
- 養生の際は、タタミジワ防止のため壁紙は大きくたたみ、上積み等は避けてください。

## 6 貼り付け

- 施工する面に垂直線を定め、その線に沿って上端をしっかりと固定し貼り付けてください。
- 商品厚が薄くジョイントが目立ちやすいため、カッターは薄刃のものを常に鋭利な状態でご使用ください。
- 入隅は必ずカットし、廻り貼りしないでください。
- 目開きの原因となりますので、下地を切らないよう突き付け施工が基本です。2枚目からは突き付けで貼り、ジョイント部はローラーで十分におさえてください。（紙が重ならないように注意してください）
- 目地が開いた場合、ボンドコークの使用は避けてください。（入隅、枠回りは除く）
- 糊の拭き残しは、塗装後の変色や色ムラの原因となりますので、直ちにきれいな水で拭き取ってください。

### ルナファーザー・フリースの場合

- 初期接着が弱いので、天井部での施工時は2人で作業してください。
- ジョイント部に段差が生じる場合がありますが、塗装をすることで目立たなくなりますので、無理に合わせる必要はありません。（フリースのエンボスはつぶれづらくなっています。）

## 7 塗装

- 貼り付け後、十分に乾燥してから（最低8時間）水性エマルジョン系塗料をローラーまたは刷毛で塗ってください。
- 巾木や枠の養生をしっかりとし、塗り収めはまっすぐの線を出してください。

## 8 補修

- 塗装後、ジョイントが目立つ時は、その面をもう一度塗装して下さい。艶あり塗装の場合は艶ムラを防止するため若干薄めて下さい。
- 塗装時に浮きが生じたら、その部分を剥がし、糊を塗布し、貼り付けた後に塗装してください。
- 汚れた時は中性洗剤で拭いてください。
- 汚れが取れない時は再塗装してください。塗装は10回程度可能です。